

```

1 =====
2 kdump-reporter 1.4-5 リリースノート
3
4 Copyright (C) 2009-2018 Satoshi Takahashi
5 Copyright (C) 2010-2018 Kohei Toyoda
6 Copyright (C) 2011-2018 Kazuhito Hagio
7 Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document
8 under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2
9 or any later version published by the Free Software Foundation;
10 with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts.
11 A copy of the license is included in the section entitled "GNU
12 Free Documentation License".
13

```

```

14 =====
15                                     NEC ITプラットフォーム事業部
16                                     2018年03月
17

```

目次

```

18
19 ----
20
21 1. はじめに
22 2. 対象機種
23 3. 動作環境
24 4. 依存パッケージ
25 5. インストール方法
26 6. アンインストール方法
27 7. 使用方法
28     7.1 kdump の設定方法
29     7.2 mkconf-kdump スクリプト
30     7.3 chkenv-kdump コマンド
31     7.4 kdump-reporter の動作イメージ
32     7.5 mkdumpreport コマンド
33 8. 新機能説明
34     8.1 バージョン 1.4 の新機能
35     8.2 バージョン 1.3 の新機能
36     8.3 バージョン 1.2 の新機能
37     8.4 バージョン 1.1 の新機能
38 9. 注意および制限事項
39 10. 不具合修正情報
40     10.1 修正済み不具合
41     10.2 未修正の既知問題 (Known Issues)
42 11. 付録
43     11.1 FAQ (Frequently Asked Questions lists)
44     11.2 kdump に関する FAQ
45     11.3 RHEL5 カーネルソースガイド
46 12. このドキュメントの改版履歴
47 13. 添付ファイル
48 14. GNU Free Documentation License
49

```

1. はじめに

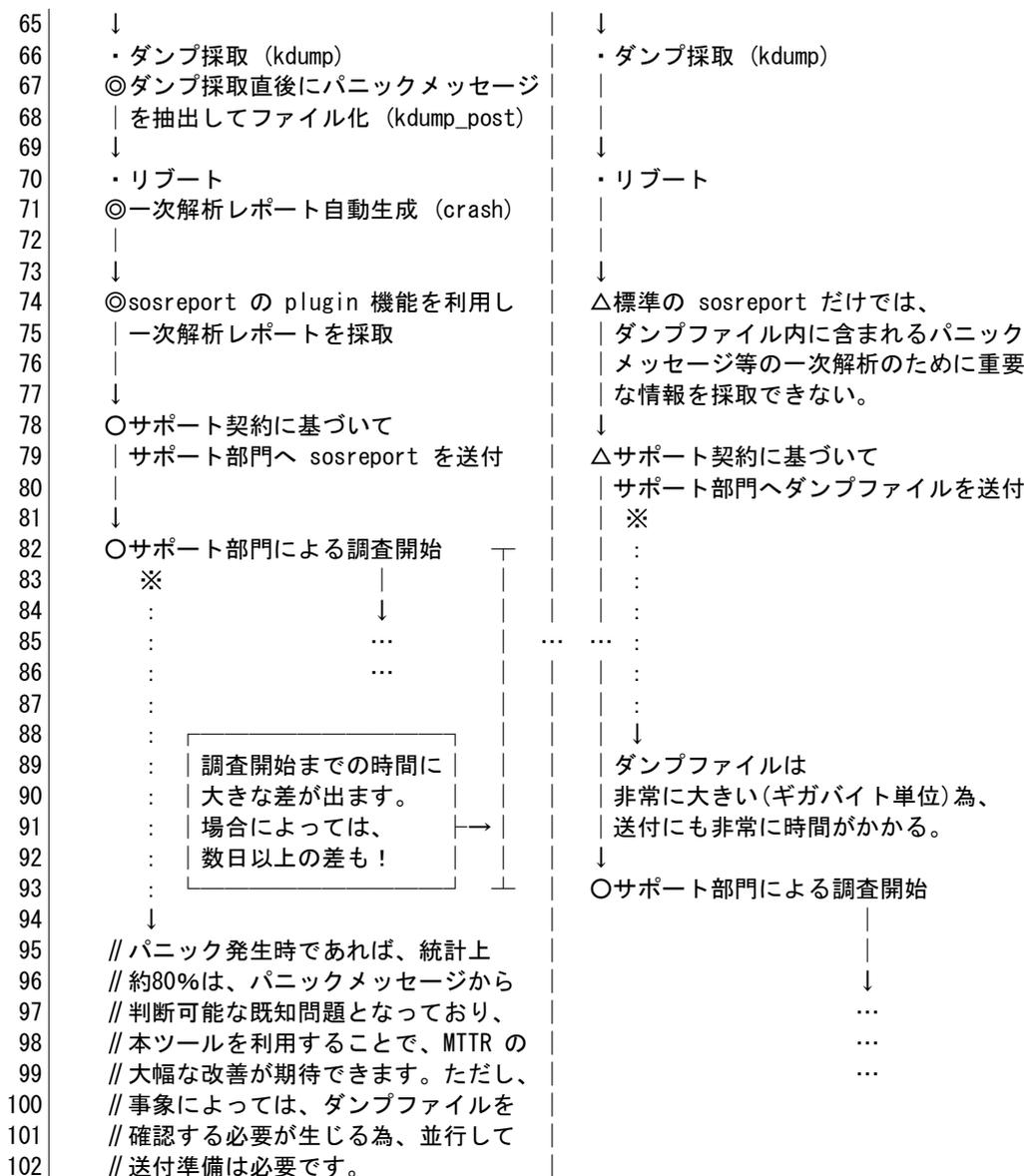
```

50
51
52 -----
53
54 kdump-reporter は、Linux カーネルクラッシュダンプの一次解析レポートを自動生成
55 するツールです。Linux システムがパニック等により停止し、ダンプが採取された場合、
56 システム再起動時に自動的に一次解析レポートを生成します。これにより、システムの
57 MTR を短縮し、可用性 (Availability) と 保守性 (Serviceability) の向上に貢献
58 することを目的としています。
59

```

<pre> 60 61 kdump-reporter 利用時 62 ===== 63 64 ★パニック発生 </pre>	<pre> 61 kdump-reporter を利用しない場合 62 ===== 63 64 ★パニック発生 </pre>
--	--

サンプル



2. 対象機種

Express5800 シリーズ

3. 動作環境

ディストリビューション	アーキテクチャ	カーネル
Red Hat Enterprise Linux 5.4 以降	64-bit x86_64 or 32-bit x86	2.6.18-164.el5 以降
Red Hat Enterprise Linux 6 以降	64-bit x86_64 or 32-bit x86	2.6.32-71.el6 以降
Red Hat Enterprise Linux 7 以降	64-bit x86_64	3.10.0-123.el7 以降

※VMware ゲスト OS 環境でも利用可能です。

※KVM 環境 (ホスト OS および ゲスト OS の両方) でも利用可能です。

129 ※Xen 環境（ホスト OS および ゲスト OS の両方）には対応していません。
 130
 131
 132

133 4. 依存パッケージ
 134 -----

136 パッケージ名	137 説明
138 kexec-tools	139 kdump 機能を提供 140 RHEL5 では、バージョン 1.102pre-77.el5 以上 141 である必要があります。「7.3 chkenv-kdump 142 コマンド」の W052 メッセージの説明を参照。
143 busybox	144 kexec-tools のために必要 (RHEL6 以下のみ)
145 kernel-debuginfo-common ※ 146 kernel-debuginfo ※	147 ダンプ解析を行う為に必要なデバッグ情報を含む
148 crash	149 ダンプ解析を行うためのツール
150 sos	151 sosreport コマンドを含んでおり、 152 生成されたダンプ一次解析レポートと基本的な 153 システム情報を採取する為に必須
154 actlog	155 パニックやストール発生直前のリソース使用状況 156 やプロセス動作状況等、ダンプ解析作業の大きな 157 助けとなる補助データを提供

158
 159 ※kernel-debuginfo-common および kernel-debuginfo については、必ず利用中の
 160 カーネルバージョンに一致するバージョンをインストールする必要があります。
 161 インストールするには、ルートファイルシステムに 500MB 以上の空きが必要です。
 162 2017年05月現在、下記の場所からダウンロードすることができます。

163 (全バージョン共通)

164 Red Hat カスタマーポータルにログインしてダウンロードできます。

165 <https://access.redhat.com/ja/downloads>

166 → Product から「Red Hat Enterprise Linux」を選択

167 → 「パッケージ」タブを選択後、バージョンを選択

168 → 「Search:」で “kernel” を検索し、「kernel」のページへ移動 (*1)

169 → 対象のバージョンを選択し、「ダウンロード」から kernel-debuginfo と
 170 kernel-debuginfo-common (*2) をダウンロードします。

171 *1 Beta バージョンのパッケージ群が表示されている場合がありますので
 172 注意してください。

173 *2 RHEL5 32-bit (x86) 環境で PAE カーネルを利用している場合には、
 174 kernel-PAE-debuginfo と kernel-debuginfo-common パッケージを
 175 インストールする必要があります。

176
 177 また、RHEL5 は下記の場所からもダウンロードできます。

178 (RHEL5)

179 Red Hat 社の FTP サーバからダウンロードできます。

180 * 64-bit x86_64

181 ftp://ftp.redhat.com/pub/redhat/linux/enterprise/5Server/en/os/x86_64/Debuginfo/

182 * 32-bit x86

183 <ftp://ftp.redhat.com/pub/redhat/linux/enterprise/5Server/en/os/i386/Debuginfo/>

184
 185 なお、kernel-debuginfo に類似した kernel-debug-debuginfo パッケージが提供